

令和4年8月3日からの大雨による出水対応

山形県県土整備部 河川課

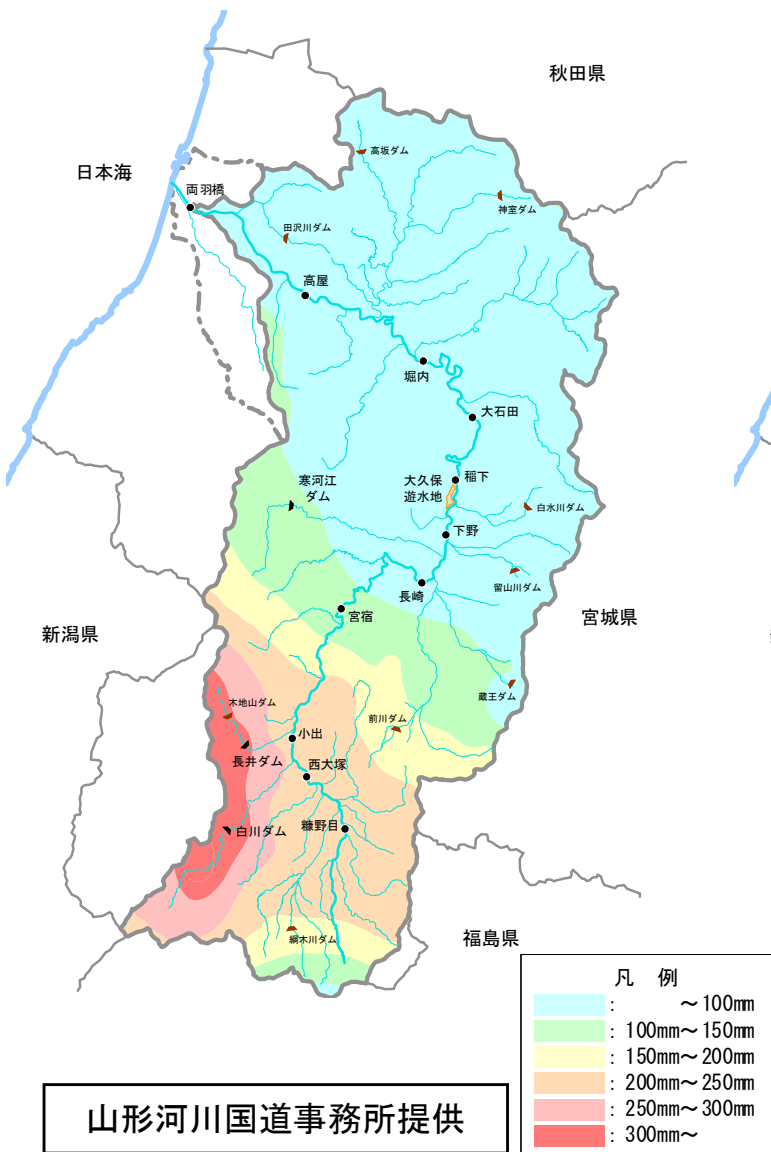
※令和4年9月末時点での状況のため、今後の精査等により数値等変更の可能性があります。



1. 令和4年8月3日からの大雨による出水における最上川水系の既往の主な水害の雨量

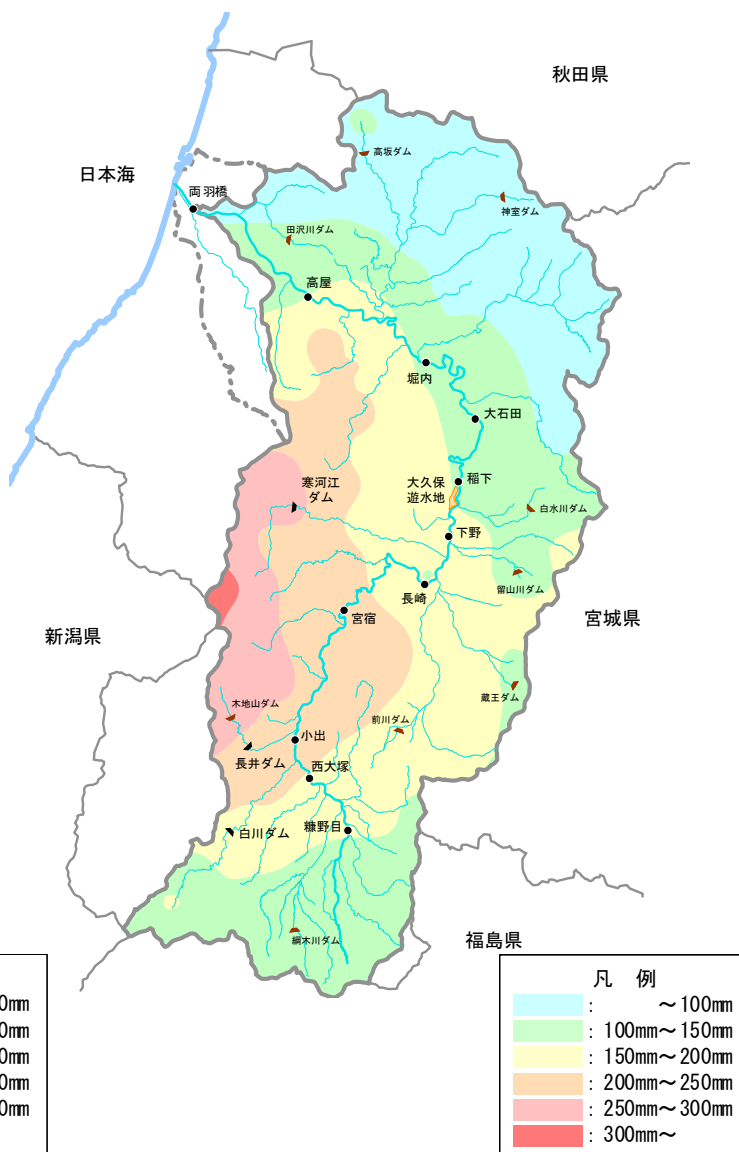
羽越水害(昭和42年8月)

[等雨量線図:2日雨量]



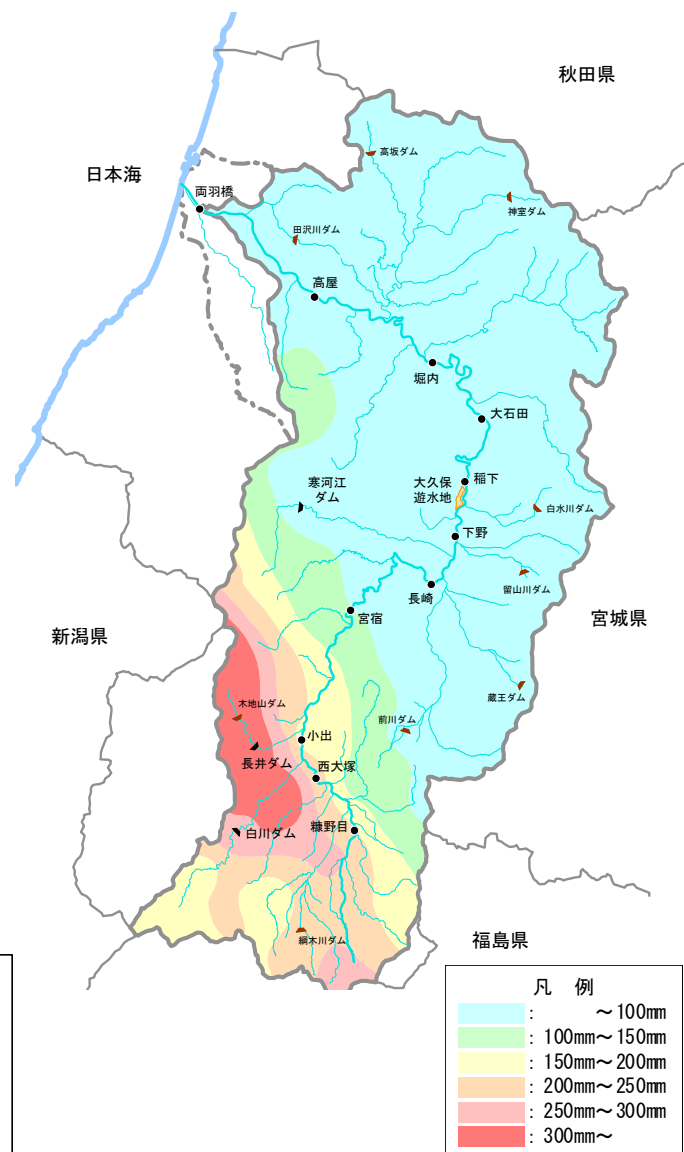
令和2年7月豪雨

[等雨量線図:2日雨量]



令和4年8月出水

[等雨量線図:2日雨量]



2. 令和4年8月3日からの大雨による県管理河川の状況

1. 河川出水状況(県管理河川)

○氾濫危険水位超過河川【警戒レベル4相当】

最上川水系: 誕生川(川西町)
黒川(川西町)
置賜白川(飯豊町)

荒川水系: 荒川(小国町)
横川(小国町)

○避難判断水位超過河川【警戒レベル3相当】

最上川水系: 鬼面川(米沢市)
犬川(川西町)

2. ホットライン実施状況(県管理河川)

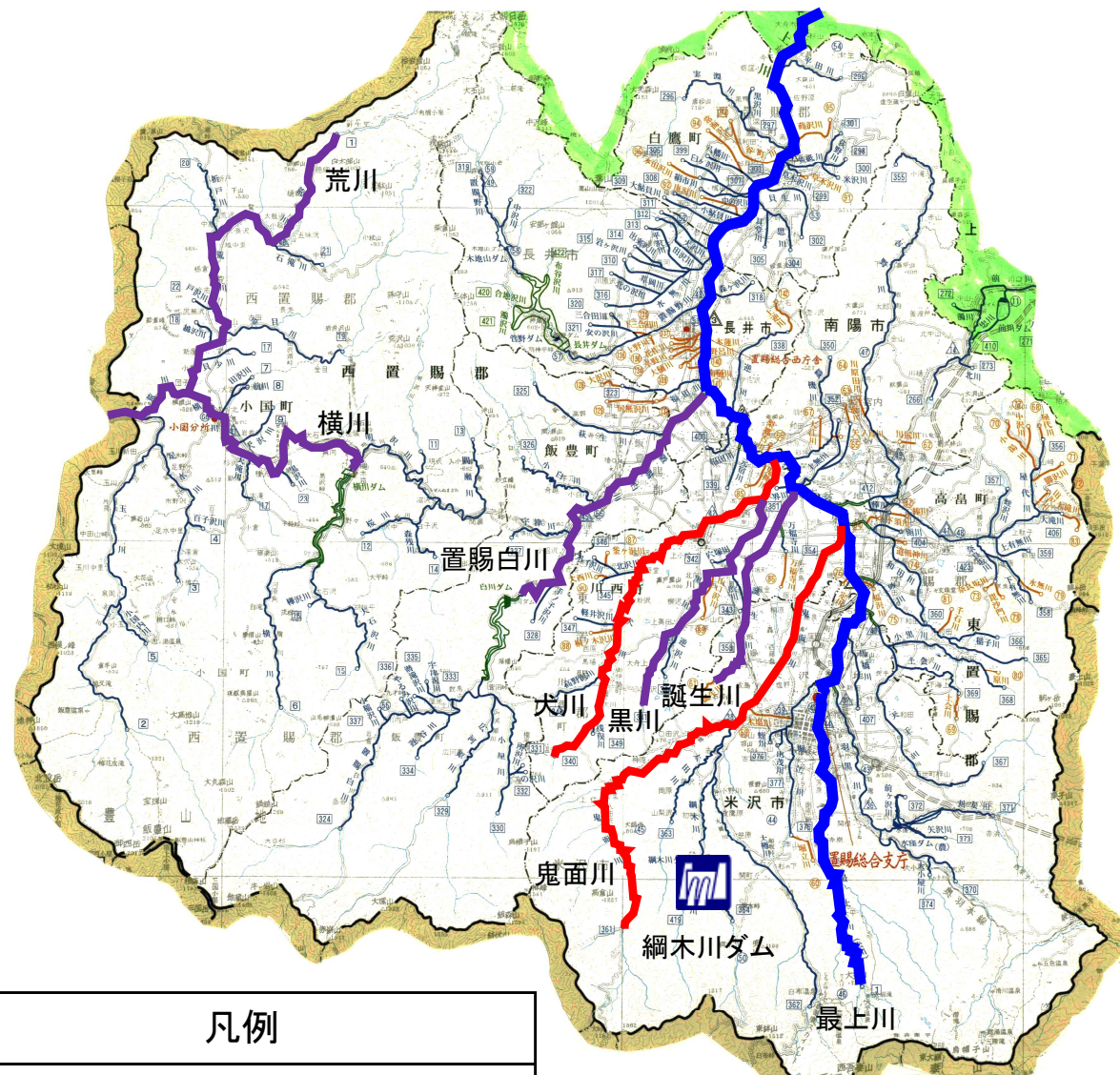
○関係首長に対し、県管理河川の状況について計16回のホットラインを実施。

- ・犬川 1回(川西町)
- ・黒川 1回(川西町)
- ・鬼面川 1回(米沢市・高畠町・川西町)
- ・誕生川 2回(米沢市・高畠町・川西町)
- ・置賜白川 2回(長井市・飯豊町)
- ・荒川 7回(小国町)
- ・横川 2回(小国町)

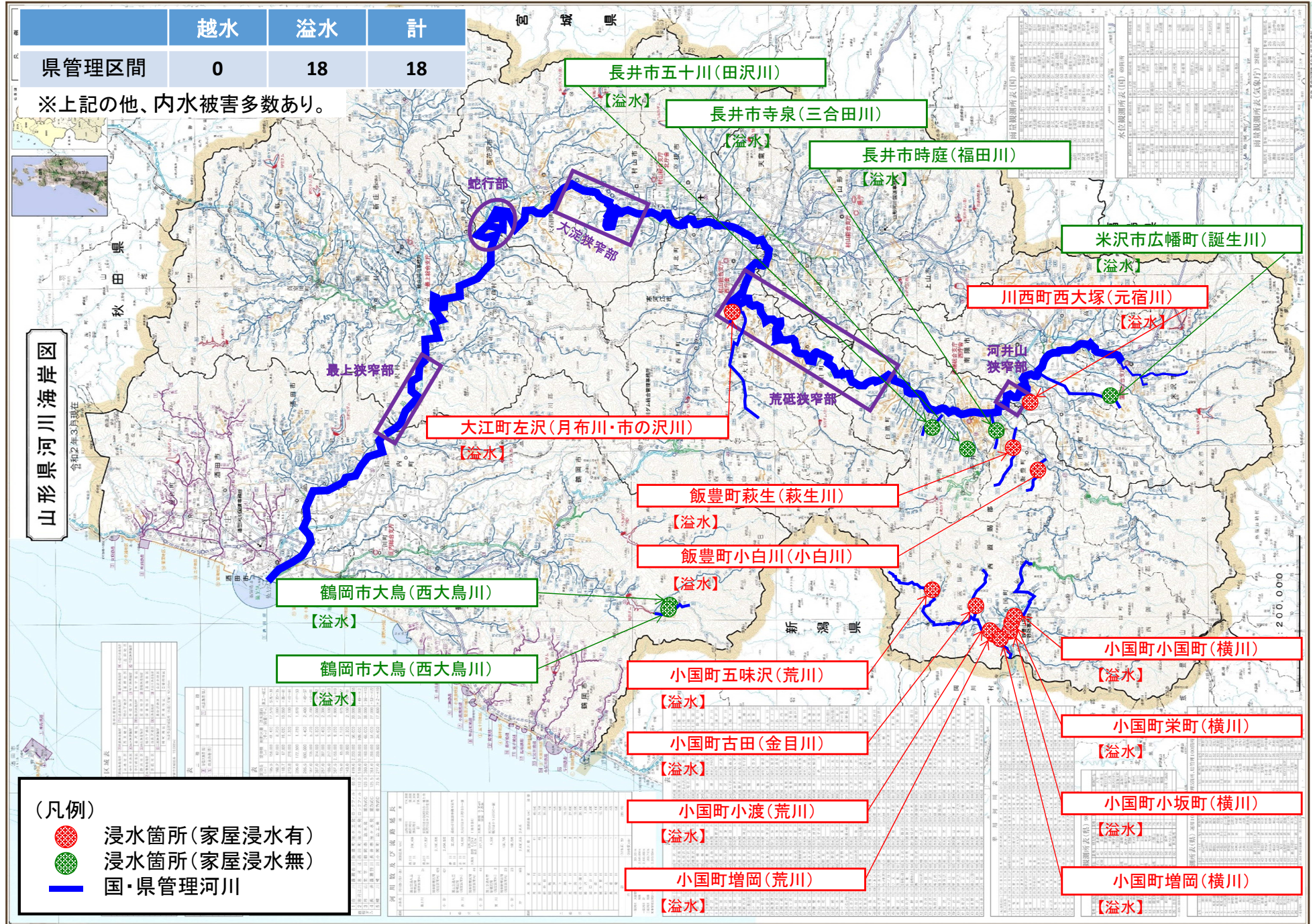
3. 県管理ダムの洪水調節状況

○県管理2ダムで洪水調節を実施

- ・綱木川ダム(米沢市)
- ・荒沢ダム(鶴岡市)



3-1. 令和4年8月3日からの大雨による県管理河川の浸水被害状況



3-2. 令和4年8月3日からの大雨による県管理河川の浸水被害状況



飯豊町萩生地区における浸水被害



飯豊町小白川地区における浸水被害



川西町黒川地区における内水被害



大江町左沢地区における内水被害

4. 令和4年8月3日からの大雨による県管理河川の施設被害状況

護岸の損壊(120m)



河岸崩壊(50m)及び除雪基地の浸水



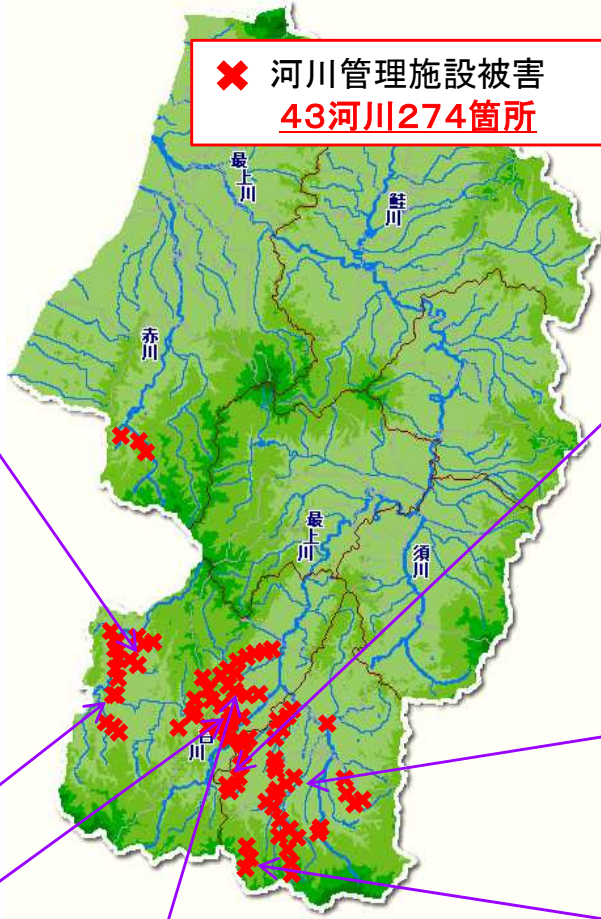
県道橋・JR橋流失、家屋浸水



広範囲に渡る護岸損壊・土砂堆積・浸水



× 河川管理施設被害
43河川274箇所



護岸損壊(80m)



護岸損壊(150m)



護岸損壊(120m)、市道橋流失



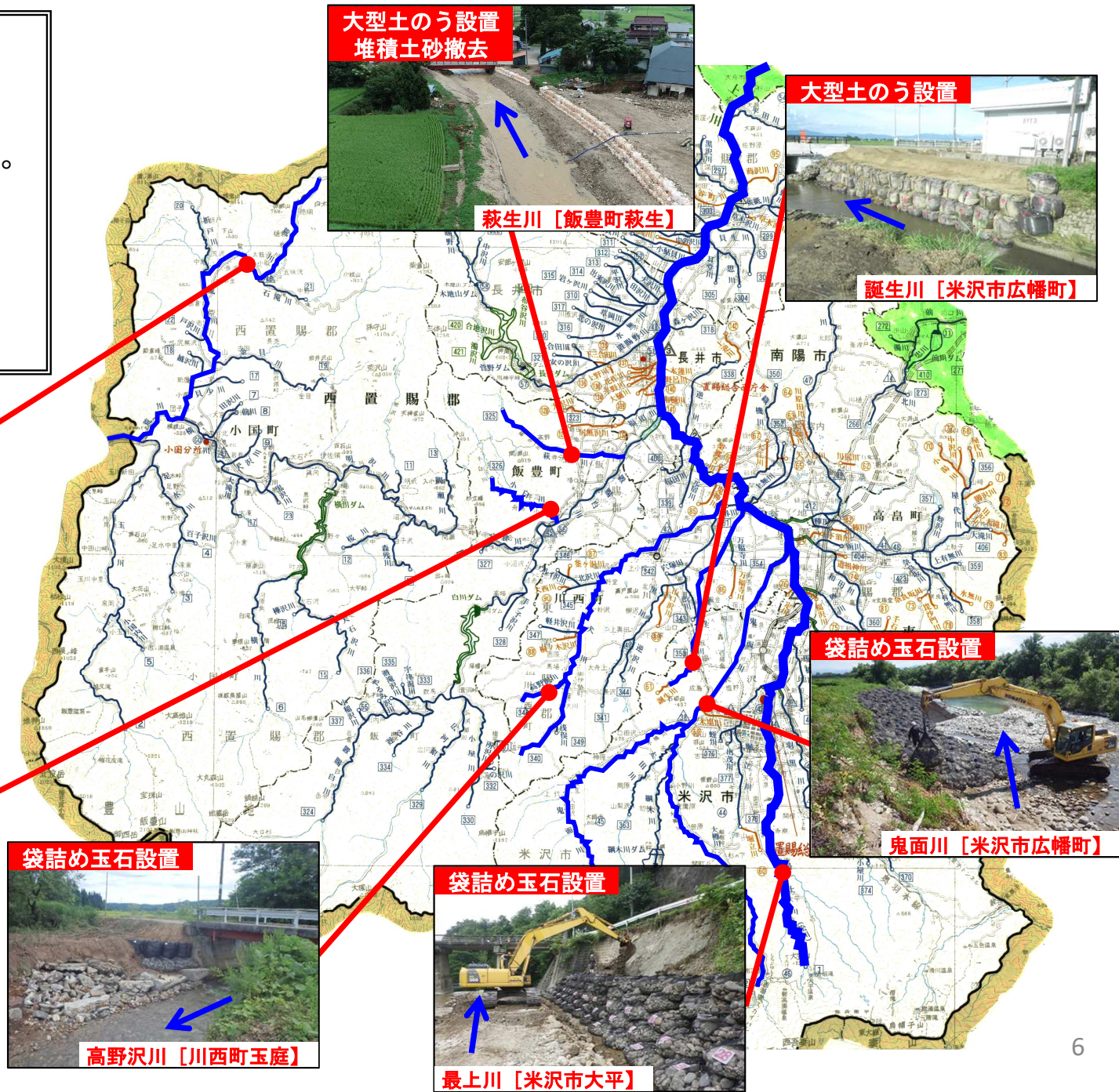
5. 河川管理施設における被害の対応状況

● 応急復旧状況(9月末時点)

応急復旧が必要な124箇所対策完了。

※ 応急復旧実施内容

- ・ 大型土のう設置
- ・ 堆積土砂撤去
- ・ 立入禁止措置 等



6. 令和4年8月3日からの大雨対応 可搬式排水ポンプの稼働状況

山形県の可搬式排水ポンプを設置し排水作業を実施

○ 県管理河川

・ 犬川、黒川(川西町東大塚) ……1台

○ 市・町からの要請

・ 野呂川(長井市館町北) ……1台

・ 不動沢川(中山町小塩) ……1台



※村山総合支庁(本)から置賜総合支庁(西)への応援[増強] :稼働なし
※村山総合支庁(西) 県管理河川 楨川へ配備 :稼働なし



不動沢川(中山町小塩)
8月4日11:00~13:30



野呂川(長井市館町北)
8月3日22:00~4日11:00



犬川、黒川(川西町東大塚)
8月3日21:00~4日13:10

7. 最上川水系網木川 網木川ダムの効果 (令和4年8月3日 降雨)

- 最上川水系網木川の網木川ダム地点において、8月3日7時頃から降り続いた雨は、4日15時までに累加雨量が165mmに達し、網木川ダムでは最大毎秒116.97m³(8月3日22:13)の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、網木川ダムでは約83.4万m³(※25mプール約2,317杯分)の水を貯め込み、下流河川の水位の低減を図りました。 ※25mプール:長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360m³で換算した場合
- 網木川ダムによって、ダム下流の米沢市館山地点で約26cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

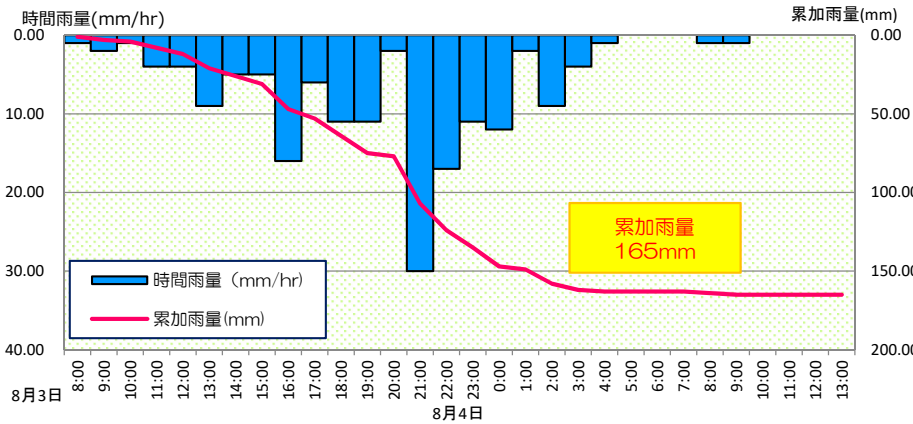
位置図



網木川ダム

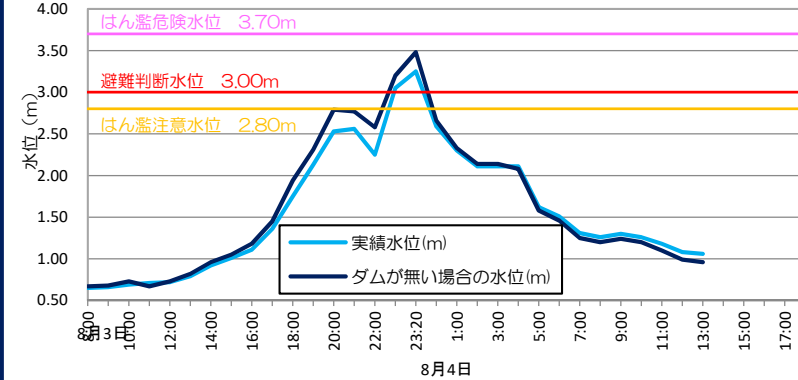
降雨状況

網木川ダムの洪水貯留状況



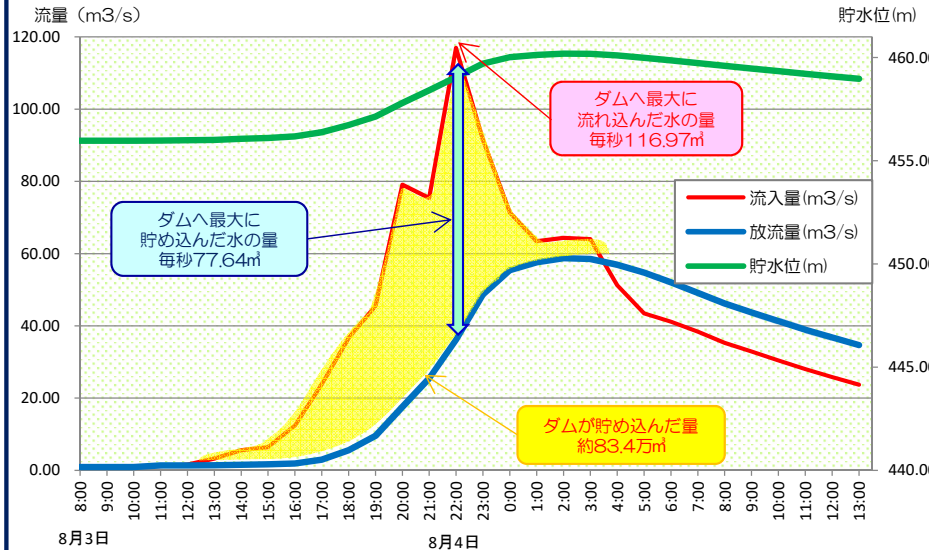
ダム下流における水位低減効果

水位状況



網木川ダム貯水状況

ダム流入量/放流量/貯水位

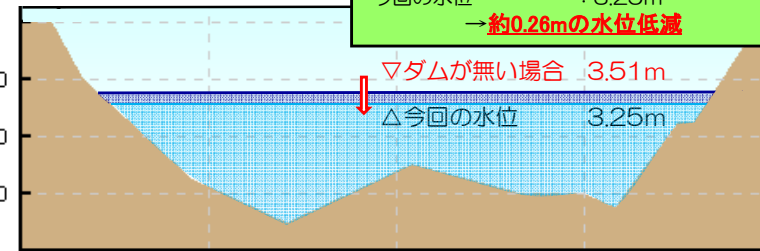


8月4日 5時

網木川 館山水位観測所付近の状況

8月4日 1時

標準断面での想定



8. 赤川水系赤川 荒沢ダムの効果 (令和4年8月3日 降雨)

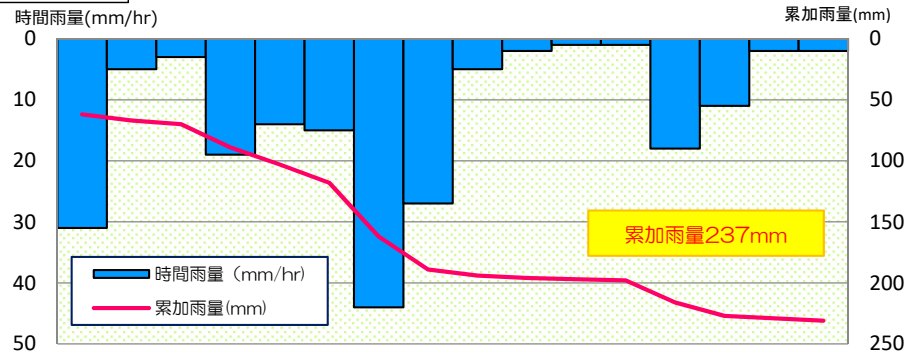
- 赤川水系赤川の荒沢ダム地点において、8月3日5時頃から降り続いた雨は、4日15時までには累加雨量が237mmに達し、荒沢ダムでは最大毎秒1,547.79m³(8月3日17:46)の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、荒沢ダムでは約555.0万m³(※25mプール約15,278杯分)の水を貯め込み、下流河川の水位の低減を図りました。 ※25mプール:長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360m³で換算した場合
- 荒沢ダムによって、ダム下流の鶴岡市熊出地点で約128cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

位置図

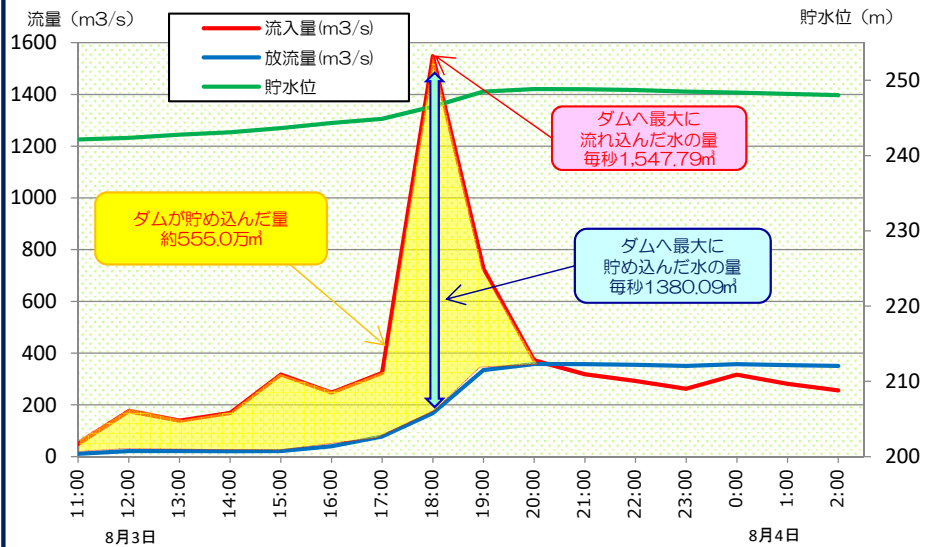


荒沢ダムの洪水貯留状況

降雨状況

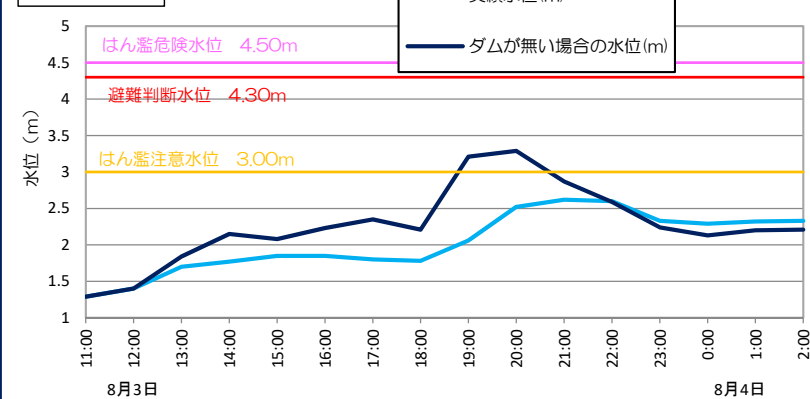


ダム流入量/放流量/貯水位

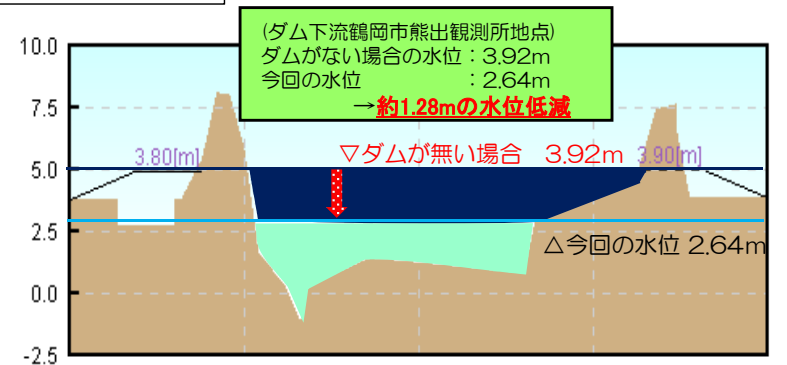


赤川における水位低減効果

水位状況



標準断面での想定



荒沢ダム貯水状況



赤川 熊出水位観測所付近の状況



9. 県民への水位情報の提供 (危機管理型水位計の増設)

- これまでに常時水位を観測する通常水位計100基及び、洪水時の水位観測に特化した危機管理型水位計85基を設置し、県の河川砂防情報システムを通じて、河川の水位情報をお知らせしています。
- この度、令和4年8月豪雨の被害を踏まえ、置賜地域の3河川に危機管理型水位計設置を設置し、令和4年9月30日から運用を開始しています。

❖ 令和4年8月豪雨を踏まえ、危機管理型水位計を追加設置した河川【黒川（川西町）、萩生川（飯豊町）、小白川（川西町）】

